

令和7年10月理事会議事録速報

取締役会と同時開催なので、役員会欄に掲載の役員会便りと同一内容です

開催日時・開催場所・出席者

開催日時	令和7年10月25日午後4時00分 ～	開催場所	ブリックアンドウッドクラブ
出席者 (敬称略・議長以外各50音順) リモート参加も議決権を有す。 委任は理事会のみ	取締役兼理事 11名	議場 田井(理事長)、木内(副理事長)、北島、塩田、中川、橋本 リモート 上西、草深、生木、村岡 欠席 加藤(木内副理事長に委任)	以上 10名出席
	取締役(非理事) 2名	議場 片岡、村瀬 リモート 無し 欠席 無し	以上 2名出席
	執行役員兼理事 1名	議場 野村 リモート 無し 欠席 無し	以上 1名出席
	最高顧問兼理事 1名	議場 坂 欠席 無し	以上 1名出席
	以上 理事13名 取締役13名		委任状、代理を含め合計13名出席 委任状、代理を含め合計13名出席
	監査役兼監事2名	議場 角川 リモート 無し 欠席 高橋	以上 1名出席
	傍聴	理事でない 執行役員2名	議場 篠本、雪 リモート
	MFC管理組合	議場 出席無し	出席0名
	事務局	議場 松本、関根	以上 2名出席
	その他	議場 無し リモート 熊木	以上 1名出席

理事会は議事を行うための定足数を充足、取締役会も議決を行うための定足数を充足。

議題

理事会

1. 委員会報告

① 競技委員会

・加藤委員長欠席のため、委員会からの報告は資料のみの書面報告。代わりに塩田氏より、競技結果についての報告がなされた。

② クラブライフ委員会(上西委員長)

・添付資料に基づき、主催イベント(ガゼボナイト、クリスマスカップ)の実施結果と準備状況について報告があった。

・委員会での討議内容として、ゲスト来場時の登録方法の改善案として、現状の手書きをLINE登録に変えることで利便性の向上が図れないか、との案が紹介され、これについては今後継続的に審議することとなった。

③ グリーン委員会（北島委員長）

- ・10月4日に行なわれた委員会の議事録に基づき、報告が行なわれた。内容としては、①コース管理部隊の作業状況に関する説明と、②メンバーからの指摘事項とそれへの対応、の2点。
- ・草刈りのボランティアに14名の方が参加された旨の報告があり、感謝の意が表明された。
- ・コース整備に関連して塩田理事より「カート道にボール止めを設置して欲しい。」との意見が出された。

④ 広報委員会（野村委員長）

- ・次号ニュースレターの原稿チェック中。来週もしくは再来週に納品予定。
- ・内容としては、臨時株主総会に関する木内社長インタビュー、委員会紹介（グリーン委及びフェロー委）、シニア選手権の報告等。

⑤ ジュニア委員会（草深委員長）

- ・10/13(祝)に開催されたジュニアレッスン会についての報告。今回の参加者は14名。次回は11/3(祝)。

⑥ ハンディキャップ委員会（中川委員長）

- ・資料に基づいて報告がなされた。内容としては、ハンディキャップボードの運用方針と、コースレーティング査定への対応方針について。

⑦ フェロウシップ委員会（塩田委員長）

- ・添付資料に基づいて活動報告が行なわれた。
- ・10/28に開催予定の拡大フェロー委において、休眠メンバーの入れ替えに向けた協力を呼び掛けることや魅力あるブリック&ウッドの再構築に向けた議論を行なうことが報告された。ブリックらしいドレスコードについても改めて議論する予定。
- ・打ち込み防止の観点からも、ナビの導入を急ぐべきとの意見表明がなされた。

2. 今後のメンバー募集スケジュールについて

木内副理事長より、配布資料に基づいて、①視察プレー・審査・ガイダンスのスケジュール、②11/15に予定されている新入会員ガイダンスの進行要領、についての説明があった。

新たにメンバーとなられる方は、来月以降は今回決定した手順に従って手続きが進められること、ガイダンスについては、4月以降入会された方全員を対象に行なわれること、視察プレーをされた方については、審査プレーを省略することも可である旨の説明があった。

3. 追加保証金②への対応について

2015年11月にメンバーから徴収した追加保証金②の返還期限が到来することから、これへの対応について、「追加保証金②のメンバーに対して書面を送り、追加保証金①への変更を依頼する。」との提案がなされた。

これを受けて、以下の議論が交された。

- ・①「追加保証金①」への変更を依頼する、②それに応じなかった方については資金状況を見ながら随時返還していく、との事であるが、もう一つの選択肢として、③協賛金又は寄付金に振り替える、があっても良いのではないか。
- ・実際に（追加保証金①の）返還を求めてきておられる方はいらっしゃるのか？
→一定数いる。
- ・追加保証金①への変更を受け入れてくれた方には、お礼として利用券をお渡しすることを考えている。

取締役会

開催日時 令和7年10月25日(土曜日) 午後4時～
 開催場所 ブリックアンドウッドクラブ ラウンジ中二階 今回も理事会と同時開催。
 リモート参加を可能とし、リモート参加者も出席者として議決権を有する。

議題

議決事項

(1) 株式譲渡承認について

株種類	譲受人	譲渡人	備考 (金額は税込・敬称略)
普通株	株FORMULA	(株)コジロー	名変料 88 万円。登録会員は西野充浩様。 紹介者:高橋敏男様・戸田敏博様
普通株	佐多 保彦	(株)コジロー	名変料 88 万円。紹介者 坂征郎様
普通株	鬼頭 慎治	(株)コジロー	名変料 88 万円。紹介者: 坂征郎様
普通株	浅谷 学嗣	(株)コジロー	名変料 110 万円。紹介者:太田至計様

→上記については、異議無く了承された。

(2) 高滝リンクス倶楽部第39期業績見込及び第40期計画について(添付資料ご参照)

- ・木内社長より、資料に基づいて説明がなされた。
- ・改善を見込む収益を活用して、借金の返済と投資の双方をバランスよく進めていきたい、との表明があった。
- ・新株発行枠については、株主総会において提案を行なう。

→上記については、異議無く了承された。

報告・協議事項

(1) 最近のゴルフ場の売り上げ状況について

資料送付済

	本年9月	前年	前年比	内平日	前年比	内土日祝	前年比
営業日数(日)	29	30	-1	19	±0	10	-1
来場者数合計(人)	2,400	2,425	-25	1,132	+32	1,268	-57
内 M	1,349	1,390	-41	424	+10	925	-51
G	585	717	-132	268	-129	317	-3
V	156	189	-33	130	-30	26	-3
N	310	129	+181	310	+181	0	±0
ゴルフ場売上高(万円)	2,408	2,480	-71	1,109	—	1,299	—

9月単月で見ると、前年と比べて土日祝の営業日が1日分少なかったことを考慮すると、来場者数、売上げともに前月に引き続き比較的堅調であり、若干目立つとすれば、平日のゲスト来場者が減り、その分をネット来場者でカバーしている点くらいか。直近数か月の新規メンバー獲得が、10月以降の売上げ改善に繋がることに期待したい。

10月1日から10月19日までのゴルフ場来場者数は、1,732名にて前年同日対比303名の増加。ゴルフ場売上は、1,768万円にて、前年同日対比172万円の増収となった。

ブルーリーフの9月期事業収支については、以下の通り（数字はすべて税抜き）。

	ホテル	レストラン	マーケット	合計	前月比
売上	458,659	4,595,485	375,824	5,429,968	-1,297,861
仕入原価		1,618,051	227,438	1,845,489	-258,448
粗利	458,659	2,977,434	148,386	3,584,479	-1,039,413
人件費				2,575,333	-129,416
家賃	300,000	300,000		600,000	0
消耗品	49,455	220,167	14,039	283,661	79,032
会費				0	0
水道光熱費	3,718	1,650	152,769	158,137	0
通信費	9,500	8,303	12,545	30,348	13,848
セコム	50,000	0	14,000	64,000	0
防犯カメラ				17,900	0
リクルート	5,169	17,930	0	23,099	7,545
支払手数料		62,008	7,182	69,190	-570
レジ利用料		0	5,455	5,455	-13,636
ソフトクリーム			30,200	30,200	0
経費合計	417,842	610,058	236,190	3,857,323	-43,197
損益				-272,844	-996,216

(2) 最近月の入退会状況について

前回役員会以降の入会は、4口4名（西野様、佐多様、鬼頭様、浅谷様）。40期に入ってから累計は15口21名となった。

(3) ブルーリーフの事業について

ブルーリーフの営業状況について特に報告すべき点があれば報告。→特に無し。

(4) コースの状況について

グリーン委員会の報告に加え特に報告すべき点があれば報告。→特に無し。

(5) その他

新規メンバーの募集と安定経営の実現に関連して、坂最高顧問から以下の意見表明および提案があり、それを受ける形でいくつかの議論が交わされた。

- ・メンバーをむやみやたらには募集しない、というスタンスが、当クラブのステータスであり矜持であった。外部業者への委託による募集が余り前面に出ると、その価値を毀損する恐れがあることから、ここはやはりメンバーと従業員が死に物狂いになって新規メンバーの募集に注力して欲しい。

- ・あと100人（上期に60名、下期に40名）募集出来れば、名義書換料収入とアクティブメンバーの増加により、業績は大きく改善すると考えられる。

・メンバーがメンバーを募集する、というクラブの伝統を出来る限り守っていききたい。今後開催予定の新入会員ガイダンスにおいては、「メンバーがメンバーを募集する」とことと「割り勘精神」の二つを是非盛り込んでもらいたい。(以上、坂最高顧問)

→メンバーに相応しい方が居られれば、当然紹介したいと考えている。しかしながら、メンバーの義務・役割の中核はミニマムユースのクリアであって、新メンバーの募集・勧誘を「義務」とされてしまうとすれば、それは厳しいかなと思う。(塩田取締役)

→皆ひとりひとりが(勧誘したいという)気持ちを持っていることが大切であり、その位置づけで良いと思う。(坂最高顧問)

→その温度感であれば可能だと思う。(塩田取締役)

→個々人のノルマということではなく、メンバーがメンバーを連れてくるという歴史の上に当クラブが成り立っていることを、メンバー各々が意識し大切に思うことが重要と考える。(坂最高顧問)

→「割り勘精神」については、ガイダンスにおいて具体的な形で表現することとする。また、業者ではなくメンバーがメンバーを引っ張ってつくる形でここまでやってきたという歴史的経緯があり、その精神を皆が引き継いでいく必要がある点もガイダンスの場で伝えていきたい。(木内社長)

→細かいことも含めて売上げを積み上げた上でそれでも足りなければ「割り勘」という話であれば分かるのだが、その前段での努力がもう少し必要なのではないか。ツーサムでの利用者に対する割増料金の設定等を考えるべきではないか。(塩田取締役)

→個々の割増案は、その殆どが、過去に議論され一旦は「やらない」という結論が出されて今の状態が成り立っている、と理解している。各委員長におかれては、「理事会で意見は出したが通らなかった」という通り一遍の報告にとどまることなく、「ブリック&ウッドにとって、その選択をすることが本当に良いことなのか。」という観点から、是非論議を深めて頂きたいと考えている。(木内社長)

→ガイダンスのみならず、個別の勧誘、入会のタイミングできちんと話をするのが大切ではないかと思う。(北島取締役)

→リーフレット等にも詳細な記載がなされている。募集を担当する業者の方にも、その点については繰り返し話をしているところである。(木内社長)

→上記(1)から(5)について報告を受け、協議の結果了承した。

以上